

これから男性と女性の英語での会話を放送します。
この2人の会話のあとに続く英文として最も適切なものを、A、B、C、Dの中から選び、その記号に○をつけなさい。

リスニング問題
(英語での問いかけに対する適切な応答)
通過率 39.2%

- ☆ Excuse me, Ms. Kimura.
- ★ Yes.
- ☆ Can I use your bike?
- ★
- A : Thank you.
- B : You're welcome.
- C : Yes, I can.
- D : Sure.

解答類型		割合 (%)
○	D	39.2
×	A	3.3
×	B	4.6
×	C	52.6
×	上記以外の解答	0.1
—	無解答	0.1

・ 依頼としての Can I ~? に対して、Yes, I can. と答えた。

・ 「Can I ~? に対しては、can で答える」というパターンで捉えている。

活動のつながり

【小学校外国語活動】

- コミュニケーションに関する事項
- ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
 - ・ 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。
 - ・ 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

【中学校外国語科】 聞くこと

- ・ 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

第5学年

コミュニケーションの働きの例

「好きなものを伝えよう」
Thank you.
You're welcome.
(Hi, friends! 1L4)

第6学年

コミュニケーションの働きの例

「オリジナルの物語を作ろう」
Here you are.
Thank you.
(Hi, friends! 2L7)

中学校第1学年

言語の働きの例

A: Can you close the door?
B: Sure.
A: Can I use your camera?
B: I'm sorry, you can't.

中学校第2学年

言語の働きの例

A: Would you like anything else?
B: No. That's all. Thanks.
A: Could you tell me the way to the station?
B: Sure.

中学校第3学年

言語の働きの例

A: Could you tell me how to get to Fukuoka Airport?
B: Sure.
A: May I take your order?
B: Yes, please.

提案 日常の場面を設定し、場面にあったやりとりを考えさせましょう。

- 相手からの質問や指示、依頼、提案等の場面の設定を工夫し、相手の意図を正しく理解し、適切に応じることができるようにしましょう。例えば、「Do you have a pen?」という問い掛けは「ペンを持っているかどうか確認したい」場面や「ペンを貸してほしい」場面が考えられます。場面や状況によって、**相手の意をくんで**応答させましょう。

(例) ① Do you have a pen?
— Yes, I do. / Sure, here it is.

“Yes, I do.” “Sure, here it is.” のどちらを使った方が、尋ねた相手の気持ちに応じることができるかしら?

先生に学習道具の確認を問われている場面だったら、「Yes, I do.」と答えるだろうし、友達に貸してほしいと依頼している場面だったら、「Sure, here it is.」と言ってペンを差し出す方がよいと思います。



- ② Can you open the door? — Yes, of course. / Sure. / OK.
- ③ Shall I take you to the station? — Yes, please.
- ④ Why don't you have dinner with us? — Thank you! I will.
- ⑤ Would you like something to eat? — No, thank you. I'm full.